

講座名： 小さな物語をつくるコツ

【「物語を構想する」ためのワークシート】

*以下の質問に、順番に答えていってください。

1. どんなストーリーを書きたいのですか？

*あなたにとっての「着想のタネ」は？ たぶんそれは、“たった一言”に集約されうるような、短い何かではないでしょうか？ 物語表現の「初期衝動」と言いますが、それは何ですか？

2. では、どんな主人公を描こうと思いますか？（*なるべく具体的に）

- (1)そのひとの名前と年齢、性別は？
- (2)仕事や、住んでいるところ、家族、ペット、趣味など、基本情報について
- (3)そのひとは、自分の人生と暮らしに満足している？ どんな思いを持っている？
- (4)そのひとの「生きる目標」「行動目標」は？
- (5)そのひとが「好きなひと」「もの」「場所」「こと」「匂い」「食べ物」などは？
- (6)そのひとは、どんな街、どんな部屋で、どんな風に暮らしている？
- (7)そのひとが幸せを感じる時やものやタイミング、その対象は？
- (8)そのひとが、自分の人生で一番後悔していることは？
- (9)そのひとが一番最近した「悪いこと」「ひとに嫌われるようなこと」は？
- (10)そのひとにとって、「自分の好きなところ」「誇りに思うこと」「自分の嫌いなところ」「恥ずかしいと思うこと」は？
- (11)そのひとが、これから先の人生で挑戦したいと思っていることは？
- (12)そのひとは、いったい何を恐れているのか？
- (13)そのひとのことを愛しているのは、どんなひと？
- (14)そのひとは、今、どんな「場所」「時」にいるのでしょうか？

3. その人物は、物語の冒頭では、どんな「時」「場所」にいますか？

*このことを具体的にしていくことが、小説にとって大切な「描写」につながります。

*ある場所に、あるひとがいる……それで、何がその人物に起こるのか？ そしてどうなるのか？ ……というように、頭を働かせていくと、おのずと小説になります。

4. そしてそのあと、主人公の身には、いったい何が起こりますか？

*主人公があるときある場所にいるだけでは、物語は発動しません。ご自分のストーリーの中で、“ことを起こす”という感覚を持ってください。いったいどんな“ことが起こる”と、物語が「発動する」のか、考えてください。あなたの主人公は、ストーリーの中でいったい「何に気づいて」、そして「何をする」のでしょうか？

5. そのことによって、あなたのストーリーにはどんな事が起こりますか？

6. ストーリーの中で起こることの何が、読者の興味をひくのでしょうか？

7. あなたの物語の「プロット」について、ちょっと考えてみましょう。

ざっとあらすじを、400字程度で書いてみて、ご自分が今考えている筋立てを一度、言葉にしてみてください。

【ご参考】

<プロット作りのパターン①>

- ◇ストーリーとは、主人公の物語である
- ◇“主人公を追いつめる”ようにして書くとよい
- ◇第一幕：“主人公が木の上に追われる”
第二幕：“みんなが主人公に石を投げる”
第三幕：“主人公が木から下りてくる”（エウリピデスによる）

<プロット作りのパターン②>

- ◇「敵対者」をどう作るか、が、ほとんどすべて、でもある
- ◇主人公と「敵対者」とはたいてい三度闘い、そのありようはそれぞれ異なっている
- ◇「敵対者」は人間であるとは限らず、大きければ大きいほど、強ければ強いほどいい

<プロット作りのパターン③>

- ◇どんなストーリーにも、「ミステリ」と「サスペンス」とがある。
「ミステリ」：“なぜこうなったのか・何があったのか”という謎
→過去にさかのぼる矢印（ベクトル）
「サスペンス」：“これからどうなるのか”という不安と緊張
→現在から未来に向かっていく矢印（ベクトル）

8.あなたの主人公にとっての「敵対者」とは、いったいどんな人物ですか？

9.あなたの主人公にとっての「同志」（伴走者）とは、どんな人物ですか？

10.主人公+敵対者+伴走者 の三角形の相関図を作って、お互いにどんな関係なのか、一度書き出してみてください。

*ここまで具体的に考えることが出来たら、もう短編は書けます。がんばってください！